

## 2019年度収支決算案及び公益目的支出計画実施報告書案承認の件

- 1.定款第40条第1項の定めに従い、2019年度収支決算案(注1)の承認並びに同案を総会の決議事項とすることの承認、を求める。
- 2.法令に基づき、公益目的支出計画実施報告書案(注2)の承認並びに同案を総会の報告事項とすることの承認、を求める。

(注1)資料2添付1『2019年度会計報告等及び2019年度監査報告』の1.収支決算案(1)~(4)

(注2)資料2添付1『2019年度会計報告等及び2019年度監査報告』の2.公益目的支出計画実施報告書案

## 2019年度会計報告等及び2019年度監査報告



一般社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター

自 2019年4月1日  
至 2020年3月31日

## 2019年度会計報告等

## 1.収支決算案

(1) 貸借対照表	----	1
(2) 正味財産増減計算書	----	2
正味財産増減計算書内訳表	----	
(3) 財務諸表((1)及び(2))に対する注記及び附属明細書	----	4
(4) 財産目録	----	8
2.公益目的支出計画実施報告書案	----	9

## 2019年度監査報告

## 3.独立監査人の監査報告書

## 4.監事監査報告書

## 貸借対照表

2020年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	333,801,098	316,652,626	17,148,472
未収金	57,003,370	4,466,176	52,537,194
未収利息	4,040,927	5,331,830	△ 1,290,903
未収税金	3,996,580	5,770,236	△ 1,773,656
前払金	4,591,507	4,653,077	△ 61,570
前払費用	5,930,712	6,033,534	△ 102,822
貸倒引当金	△ 172,638	△ 172,638	0
流動資産合計	409,191,556	342,734,841	66,456,715
2 固定資産			
(1) 特定資産			
ICANN等積立資産	1,030,726		1,030,726
減価償却引当資産	201,719,173	201,719,173	0
インターネット基盤整備基金資産	1,193,853,488	1,231,496,290	△ 37,642,802
特定資産合計	1,396,603,387	1,433,215,463	△ 36,612,076
(2) その他固定資産			
建物附属設備	11,970,402	14,061,004	△ 2,090,602
什器備品	27,861,533	29,295,908	△ 1,434,375
ソフトウェア	30,706,708	32,246,054	△ 1,539,346
電話加入権	1,385,136	1,385,136	0
敷金	30,107,000	30,107,000	0
関連会社株式	140,170,000	140,170,000	0
長期前払費用	4,098,114	1,633,866	2,464,248
その他の固定資産合計	246,298,893	248,898,968	△ 2,600,075
固定資産合計	1,642,902,280	1,682,114,431	△ 39,212,151
資産合計	2,052,093,836	2,024,849,272	27,244,564
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	11,759,889	14,978,077	△ 3,218,188
前受金	275,000	125,540	149,460
預り金	932,240	2,802,195	△ 1,869,955
賞与引当金	28,888,513	24,427,630	4,460,883
未払消費税等	9,282,600	4,223,200	5,059,400
未払法人税等	2,791,900	70,000	2,721,900
流動負債合計	53,930,142	46,626,642	7,303,500
負債合計	53,930,142	46,626,642	7,303,500
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			0
指定正味財産合計	1,030,719		1,030,719
(うち特定資産への充当額)	(1,030,719)		1,030,719
2 一般正味財産	1,997,132,975	1,978,222,630	18,910,345
(うち特定資産への充当額)	(1,395,572,668)	(1,433,215,463)	△ 37,642,795
正味財産合計	1,998,163,694	1,978,222,630	19,941,064
負債及び正味財産合計	2,052,093,836	2,024,849,272	27,244,564

(注) 実施事業資産は次のとおりです。

    その他固定資産    什器備品    2,914,190

# 正味財産増減計算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産運用益	(20,333,165)	(18,492,807)	(1,840,358)
減価償却引当資産受取利息	465,225	16,723	448,502
インターネット基盤整備基金資産受取利息	19,867,933	18,476,084	1,391,849
ICANN等積立資産受取利息	7	0	7
② 受取会費	(95,500,000)	(97,000,000)	(△1,500,000)
正会員受取会費	91,200,000	92,500,000	△ 1,300,000
賛助会員受取会費	4,300,000	4,500,000	△ 200,000
③ 事業収益	(455,042,039)	(401,313,671)	(53,728,368)
インターネット基盤整備事業収益	100,813,521	47,932,852	52,880,669
IPアドレス事業収益	354,228,518	353,380,819	847,699
④ 受取助成金	(130,000)	(0)	(130,000)
受取助成金	130,000	0	130,000
⑤ 受取寄付金	(794,791)	(0)	(794,791)
受取寄付金振替額	794,791	0	794,791
⑥ 雑収益	(47,751,635)	(33,745,873)	(14,005,762)
受取利息	5,268	5,045	223
受取配当金	42,381,000	28,254,000	14,127,000
雑収益	5,365,367	5,486,828	△ 121,461
経常収益計	619,551,630	550,552,351	68,999,279
(2) 経常費用			
① 事業費	(468,691,232)	(445,279,825)	(23,411,407)
インターネット基盤整備事業費	174,398,814	162,579,543	11,819,271
IP事業費	294,292,418	282,700,282	11,592,136
② 管理費	(91,515,348)	(97,594,582)	(△6,079,234)
管理費	91,515,348	97,594,582	△ 6,079,234
経常費用計	560,206,580	542,874,407	17,332,173
評価損益等調整前当期経常増減額	59,345,050	7,677,944	51,667,106
特定資産評価損益等	△ 37,642,802	15,001,614	△ 52,644,416
評価損益等計	△ 37,642,802	15,001,614	△ 52,644,416
当期経常増減額	21,702,248	22,679,558	△ 977,310
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	3	3	0
経常外費用計	3	3	0
当期経常外増減額	△ 3	△ 3	0
税引前当期一般正味財産増減額	21,702,245	22,679,555	△ 977,310
法人税、住民税及び事業税	2,791,900	70,000	2,721,900
当期一般正味財産増減額	18,910,345	22,609,555	△ 3,699,210
一般正味財産期首残高	1,978,222,630	1,955,613,075	22,609,555
一般正味財産期末残高	1,997,132,975	1,978,222,630	18,910,345
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	1,825,510	0	1,825,510
一般正味財産への振替額	△ 794,791	0	△ 794,791
当期指定正味財産増減額	1,030,719	0	1,030,719
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	1,030,719	0	1,030,719
III 正味財産期末残高	1,998,163,694	1,978,222,630	19,941,064

# 正味財産増減計算書内訳表

2019年4月1日から2020年3月31日まで

(単位:円)

科 目	実施事業等会計 (インターネット基盤整備事業)	その他会計 (IP事業)	法人会計	内部取引消去	合 計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
<b>1. 経常増減の部</b>					
(1) 経常収益					
特定資産運用益	(0)	(0)	(20,333,165)		(20,333,165)
減価償却引当資産受取利息	0	0	465,225		465,225
IN基盤整備基金資産受取利息	0	0	19,867,933		19,867,933
ICANN等積立資産受取利息	0	0	7		7
受取会費	(0)	(0)	(95,500,000)		(95,500,000)
正会員受取会費	0	0	91,200,000		91,200,000
貸助会員受取会費	0	0	4,300,000		4,300,000
事業収益	(100,813,521)	(354,228,518)	(0)		(455,042,039)
IN基盤整備事業収益	100,813,521	0	0		100,813,521
IP事業収益	0	354,228,518	0		354,228,518
受取助成金	(130,000)	0	0		(130,000)
受取助成金	130,000	0	0		130,000
受取寄付金	(794,791)	(0)	(0)		(794,791)
受取寄付金振替額	794,791	0	0		794,791
雑収益	(4,832,508)	(69,669)	(42,849,458)		(47,751,635)
受取利息	0	0	5,268		5,268
受取配当金	0	0	42,381,000		42,381,000
雑収益	4,832,508	69,669	463,190		5,365,367
経常収益計	106,570,820	354,298,187	158,682,623		619,551,630
(2) 経常費用					
事業費	(174,398,814)	(294,292,418)	(0)		(468,691,232)
給与手当	75,919,179	85,989,373	0		161,908,552
退職給付費用	4,328,796	5,055,678	0		9,384,474
賞与引当金繰入額	9,418,619	14,830,709	0		24,249,328
法定福利費	10,535,265	12,653,467	0		23,188,732
福利厚生費	320,551	387,586	0		708,137
懇親会費	796,800	0	0		796,800
会議費	796,277	27,364	0		823,641
交際費	576,096	212,719	0		788,815
旅費交通費	6,491,581	8,094,385	0		14,585,966
通信運搬費	3,236,641	8,061,319	0		11,297,960
減価償却費	5,437,306	18,316,662	0		23,753,968
消耗什器備品費	37,346	44,015	0		81,361
消耗品費	915,225	1,007,815	0		1,923,040
保守料	2,853,773	19,933,906	0		22,787,679
図書費	32,703	20,644	0		53,347
印刷製本費	1,569,901	1,850,241	0		3,420,142
光熱水料費	2,089,881	3,036,945	0		5,126,826
その他賃借料	7,925,109	12,297,341	0		20,222,450
不動産賃借料	17,485,026	20,607,351	0		38,092,376
機器賃借料	0	1,294,326	0		1,294,326
火災保険料	11,538	13,599	0		25,137
保険料	111,001	178,463	0		289,464
諸謝金	2,171,292	1,874,429	0		4,045,721
租税公課	5,284,787	22,254,552	0		27,539,339
支払負担金	435,403	39,071,633	0		39,507,036
支払助成金	289,304	340,965	0		630,269
研修費	548,441	691,384	0		1,239,825
業務委託費	13,865,838	15,543,758	0		29,409,596
支払手数料	689,577	335,041	0		1,024,618
雑費	225,559	266,778	0		492,337
管理費	(0)	(0)	(91,515,348)		(91,515,348)
給与手当	0	0	33,417,331		33,417,331
退職給付費用	0	0	2,232,873		2,232,873
賞与引当金繰入額	0	0	4,639,185		4,639,185
法定福利費	0	0	4,682,340		4,682,340
福利厚生費	0	0	186,601		186,601
懇親会費	0	0	630,000		630,000
会議費	0	0	1,393,381		1,393,381
交際費	0	0	200,681		200,681
旅費交通費	0	0	2,956,557		2,956,557
通信運搬費	0	0	2,156,189		2,156,189
減価償却費	0	0	2,520,935		2,520,935
消耗什器備品費	0	0	21,239		21,239
消耗品費	0	0	509,460		509,460
保守料	0	0	1,622,888		1,622,888
修繕費	0	0	0		0
図書費	0	0	9,961		9,961
印刷製本費	0	0	1,594,094		1,594,094
光熱水料費	0	0	1,188,477		1,188,477
その他賃借料	0	0	1,615,634		1,615,634
不動産賃借料	0	0	9,943,408		9,943,408
火災保険料	0	0	6,563		6,563
保険料	0	0	48,766		48,766
諸謝金	0	0	11,546,050		11,546,050
損害保険料	0	0	102,000		102,000
租税公課	0	0	3,721,634		3,721,634
支払負担金	0	0	247,606		247,606
支払助成金	0	0	164,522		164,522
研修費	0	0	275,236		275,236
業務委託費	0	0	3,605,142		3,605,142
支払手数料	0	0	150,595		150,595
雑費	0	0	126,000		126,000
経常費用計	174,398,814	294,292,418	91,515,348		560,206,580
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 67,827,994	60,005,769	67,167,275		59,345,050
特定資産評価損益等	0	0	△ 37,642,802		△ 37,642,802
評価損益等計	0	0	△ 37,642,802		△ 37,642,802
当期経常増減額	△ 67,827,994	60,005,769	29,524,473		21,702,248
<b>2. 経常外増減の部</b>					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0		0
(2) 経常外費用					
固定資産除却損	0	0	3		3
経常外費用計	0	0	3		3
当期経常外増減額	0	0	△ 3		△ 3
税引前当期一般正味財産増減額	△ 67,827,994	60,005,769	29,524,470		21,702,245
法人税、住民税及び事業税	0	2,721,900	70,000		2,791,800
当期一般正味財産増減額	△ 67,827,994	57,283,869	29,454,470		18,910,345
一般正味財産期首残高	△ 7,885,846	731,113,683	1,254,994,793		1,978,222,630
一般正味財産期末残高	△ 75,713,840	788,397,552	1,284,449,263		1,997,132,975
<b>II 指定正味財産増減の部</b>					
受取寄付金	1,825,510	0	0		1,825,510
一般正味財産への振替額	△ 794,791	0	0		△ 794,791
当期指定正味財産増減額	1,030,719	0	0		1,030,719
指定正味財産期首残高	0	0	0		0
指定正味財産期末残高	1,030,719	0	0		1,030,719
<b>III 正味財産期末残高</b>	△ 74,683,121	788,397,552	1,284,449,263		1,998,163,694

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ①満期保有目的の債券…該当なし。
- ②子会社株式及び関連会社株式…移動平均法による原価法によっている。
- ③満期保有目的の債券並びに子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券
  - ・時価のあるもの…期末日の市場価格等に基づく時価法によっている。
  - ・時価のないもの…該当なし。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

##### ①有形固定資産

- 法人税法に定める方法によっている。なお主な耐用年数は以下のとおり。
- ・1998年(平成10年)4月1日以降に取得した建物と同一性を有する建物附属設備並びに2016年(平成28年)4月1日以降に取得したその他の建物附属設備及び構築物…定額法(6年～15年)
  - ・上記以外の建物附属設備及び構築物…定率法(5年～15年)
  - ・什器備品…定率法(2年～15年)

##### ②無形固定資産

- ・ソフトウェアの減価償却は5年間の均等償却によっている。

#### (3) 外貨建有価証券の本邦通貨への換算

外貨建有価証券は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は為替差損益として別掲せず、評価損益に含めて処理している。

#### (4) 引当金の計上基準

##### ①賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、賞与支給見込額の内、当期に帰属する額を計上している。

##### ②貸倒引当金

債権について、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

#### (5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

### 2 特定資産の増減額及び残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
ICANN等積立資産				
普通預金		1,825,517	794,791	1,030,726
小計	0	1,825,517	794,791	1,030,726
減価償却引当資産				
定期預金	201,719,173			201,719,173
小計	201,719,173	0	0	201,719,173
インターネット基盤整備基金資産				
国内公社債・外国債券等	941,240,433	210,043,380	326,684,802	824,599,011
定期預金	150,000,000			150,000,000
普通預金	140,255,857	289,042,000	210,043,380	219,254,477
小計	1,231,496,290	499,085,380	536,728,182	1,193,853,488
合計	1,433,215,463	500,910,897	537,522,973	1,396,603,387

### 3 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
ICANN等積立資産	1,030,726	(1,030,719)	(7)	0
減価償却引当資産	201,719,173	0	(201,719,173)	0
インターネット基盤整備基金資産	1,193,853,488	0	(1,193,853,488)	0
合 計	1,396,603,387	(1,030,719)	(1,395,572,668)	0

### 4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	35,176,251	23,205,849	11,970,402
什器備品	242,496,764	214,635,231	27,861,533
ソフトウェア	316,755,632	286,048,924	30,706,708
合 計	594,428,647	523,890,004	70,538,643

### 5 法人の採用する退職給付制度

確定拠出型の制度として、確定拠出年金制度を設けている。

### 6 事業費及び管理費の形態別分類

事業費及び管理費の形態別分類は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	事業費			管理費	合計
	IN基盤整備事業費	IP事業費	事業費合計		
給料手当	75,919,179	85,989,373	161,908,552	33,417,331	195,325,883
退職給付費用	4,328,796	5,055,678	9,384,474	2,232,873	11,617,347
賞与引当金繰入額	9,418,619	14,830,709	24,249,328	4,639,185	28,888,513
法定福利費	10,535,265	12,653,467	23,188,732	4,682,340	27,871,072
福利厚生費	320,551	387,556	708,107	186,601	894,708
懇親会費	796,800	0	796,800	630,000	1,426,800
会議費	796,277	27,364	823,641	1,393,381	2,217,022
交際費	576,096	212,719	788,815	200,681	989,496
旅費交通費	6,491,581	8,094,385	14,585,966	2,956,557	17,542,523
通信運搬費	3,236,641	8,061,319	11,297,960	2,156,189	13,454,149
減価償却費	5,437,306	18,316,662	23,753,968	2,520,935	26,274,903
消耗什器備品費	37,346	44,015	81,361	21,239	102,600
消耗品費	915,225	1,007,815	1,923,040	509,460	2,432,500
保守料	2,853,773	19,933,906	22,787,679	1,622,888	24,410,567
修繕費	0	0	0	0	0
図書費	32,703	20,644	53,347	9,961	63,308
印刷製本費	1,569,901	1,850,241	3,420,142	1,594,094	5,014,236
光熱水料費	2,089,881	3,036,945	5,126,826	1,188,477	6,315,303
その他賃借料	7,925,109	12,297,341	20,222,450	1,615,634	21,838,084
不動産賃借料	17,485,025	20,607,351	38,092,376	9,943,408	48,035,784
機器賃借料	0	1,294,326	1,294,326	0	1,294,326
火災保険料	11,538	13,599	25,137	6,563	31,700
保険料	111,001	178,463	289,464	48,766	338,230
諸謝金	2,171,292	1,874,429	4,045,721	11,546,050	15,591,771
損害保険料	0	0	0	102,000	102,000
租税公課	5,284,787	22,254,552	27,539,339	3,721,634	31,260,973
支払負担金	435,403	39,071,633	39,507,036	247,606	39,754,642
支払助成金	289,304	340,965	630,269	164,522	794,791
研修費	548,441	691,384	1,239,825	275,236	1,515,061
業務委託費	13,865,838	15,543,758	29,409,596	3,605,142	33,014,738
支払手数料	689,577	335,041	1,024,618	150,595	1,175,213
雑費	225,559	266,778	492,337	126,000	618,337
合 計	174,398,814	294,292,418	468,691,232	91,515,348	560,206,580

## 7 資産除去債務に関する注記

当法人は、オフィスの不動産賃借契約に基づき、オフィスの退去時における原状回復に係る債務を有しているが、当該債務に関連する賃借資産の使用期間が明確でなく、将来オフィスを移転する予定もないことから、資産除去債務を合理的に見積もることができない。そのため、当該債務に見合う資産除去債務を計上していない。

## 8 金融商品の状況に関する事項

### (1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、法人運営の財源の一部を運用益によって賄うため、債券、デリバティブ取引を組み込んだ複合金融商品により資産運用する。

当法人が利用するデリバティブ取引は、デリバティブを組み込んだ複合金融商品(仕組債、仕組預金)のみである。なお、投機目的のデリバティブ取引は行わない方針である。

### (2) 金融商品の内容及びそのリスク

インターネット基盤整備基金資産のうち投資有価証券は、債券、デリバティブ取引を組み込んだ債券(仕組債)であり、発行体の信用リスク、市場リスク(金利の変動リスク、為替の変動リスク及び市場価格の変動リスク)にさらされている。

### (3) 金融商品のリスクに係る管理体制

#### ①資産運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資産運用規程に基づき行う。

#### ②信用リスクの管理

債券及び仕組債については、発行体の信用情報や時価の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

## 9 指定正味財産から一般正味財産への振替額

内容	金額
経常収益への振替額	
ICANN等事業費計上による振替額	794,791



## 附属明細書

### 1 特定資産の明細

財務諸表の注記2「特定資産の増減額及び残高」にて記載している。

### 2 引当金の明細

(単位:円)

名 称	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	24,427,630	28,888,513	24,427,630	0	28,888,513
貸倒引当金	172,638	0			172,638

# 財産目録

2020年 3月31日現在

(単位:円)

科目	金額	
<b>I 資産の部</b>		
<b>1. 流動資産</b>		
現金預金	333,801,098	
現金 現金手許有高	114,903	
普通預金 三菱UFJ銀行神保町支店	125,281,579	
普通預金 三菱UFJ銀行神保町支店	13,217,332	
普通預金 三菱UFJ銀行神保町支店	0	
普通預金 みずほ銀行東京中央支店	195,187,284	
未収金	57,003,370	
未収利息	4,040,927	
インターネット基盤整備基金資産未収利息	4,040,927	
未収税金	3,996,580	
前払金 事務局家賃/IX費用等/会計ソフト使用料	4,591,507	
前払費用 サーバ等の保守料	5,930,712	
貸倒引当金	△ 172,638	
流動資産合計		409,191,556
<b>2. 固定資産</b>		
(1) 特定資産		
ICANN等積立資産	1,030,726	
普通預金: 三菱UFJ銀行神保町支店	1,030,726	
減価償却引当資産	201,719,173	
定期預金: 大和ネクスト銀行ベンテン支店	201,719,173	
インターネット基盤整備基金資産	1,193,853,488	
国内公社債・外国債券等	824,599,011	
定期預金: 三菱UFJ銀行神保町支店	150,000,000	
普通預金: 三井住友銀行東京営業部	219,254,477	
特定資産合計	1,396,603,387	
(2) その他固定資産		
建物附属設備	11,970,402	
什器備品	27,861,533	
ソフトウェア	30,706,708	
電話加入権	1,385,136	
敷金	30,107,000	
関連会社株式 (株)日本レジストリサービス 株式 1385株	140,170,000	
長期前払費用 サーバ等の保守料	4,098,114	
その他の固定資産合計	246,298,893	
固定資産合計		1,642,902,280
資産合計		2,052,093,836
<b>II 負債の部</b>		
<b>1. 流動負債</b>		
未払金	11,759,889	
前受金	275,000	
預り金 住民税等	932,240	
賞与引当金	28,888,513	
未払消費税等	9,282,600	
未払法人税等	2,791,900	
流動負債合計		53,930,142
<b>2. 固定負債</b>		
固定負債合計		0
負債合計		53,930,142
<b>正味財産</b>		1,998,163,694

## 公益目的支出計画実施報告書

【2019年度(2019年4月1日から2020年3月31日まで)の概要】

1.	公益目的財産額	2,588,456,331 円
2.	当該事業年度の公益目的収支差額((1)+(2)-(3))	587,882,562 円
	(1) 前事業年度末日の公益目的収支差額	520,054,568 円
	(2) 当該事業年度の公益目的支出の額	174,398,814 円
	(3) 当該事業年度の実施事業収入の額	106,570,820 円
3.	当該事業年度末日の公益目的財産残額	2,000,573,769 円
4.	2の欄に記載した額が計画に記載した見込額と異なる場合、その概要及び理由 計画作成時点の見込に比べ、当該事業における収入が上回り、支出が下回ったため、当該事業年度末日の公益目的収支差額が計画における見込額を下回ったものである。なお、公益目的支出計画の残りの実施期間および今後の当該事業の実施規模を鑑みて、実施期間は据え置いている。	

【公益目的支出計画の状況】

公益目的支出計画の 完了予定事業年度の末日	(1) 計画上の完了見込み	2036年3月31日
	(2) (1)より早まる見込みの場合	

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計画	実績	計画	実績	計画
公益目的財産額	2,588,456,331 円	2,588,456,331 円	2,588,456,331 円	2,588,456,331 円	2,588,456,331 円
公益目的収支差額	664,768,101 円	520,054,568 円	780,282,035 円	587,882,562 円	895,795,969 円
公益目的支出の額	145,313,934 円	162,579,543 円	145,313,934 円	174,398,814 円	145,313,934 円
実施事業収入の額	29,800,000 円	52,844,589 円	29,800,000 円	106,570,820 円	29,800,000 円
公益目的財産残額	1,923,688,230 円	2,068,401,763 円	1,808,174,296 円	2,000,573,769 円	1,692,660,362 円

## 独立監査人の監査報告書

2020年4月23日

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター  
理事長 後藤 滋樹 殿

横浜みなと会計事務所  
神奈川県横浜市  
公認会計士

### 監査意見

私は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第124条第2項第1号の規定に基づく監査に準じて、一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンターの2019年4月1日から2020年3月31日までの2019事業年度の貸借対照表、損益計算書（公益認定等ガイドラインⅡ-4の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書について監査し、あわせて、正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産及び損益（正味財産増減）の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 監査意見の根拠

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私の責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。私は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続事業の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続事業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

### 財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続事業を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続事業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続事業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

法人と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

# 監 事 監 査 報 告 書

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター  
理事長 後 藤 滋 樹 殿

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター

監事 青木 邦哲 印

2020年 4月 28日

監事 高宮 展樹 印

2020年 4月 28日

監事 西脇 孝博 印

2020年 4月 28日

私たち監事は、2019年4月1日から2020年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下の通り報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行の状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況並びに公益目的支出計画の実施の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書並びに財産目録）並びに公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

## 2 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一. 事業報告及びその他附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二. 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

- (3) 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以 上